

本庁管内 学校基本情報

(助川町、宮田町、神峰町、本宮町、若葉町、平和町、鹿島町、弁天町、幸町、旭町、相賀町、会瀬町、城南町、高鈴町、白銀町、東町、成沢町、東成沢町、中成沢町、西成沢町、滑川町、滑川本町、東滑川町)

1 児童生徒数

(1) 小学校児童数

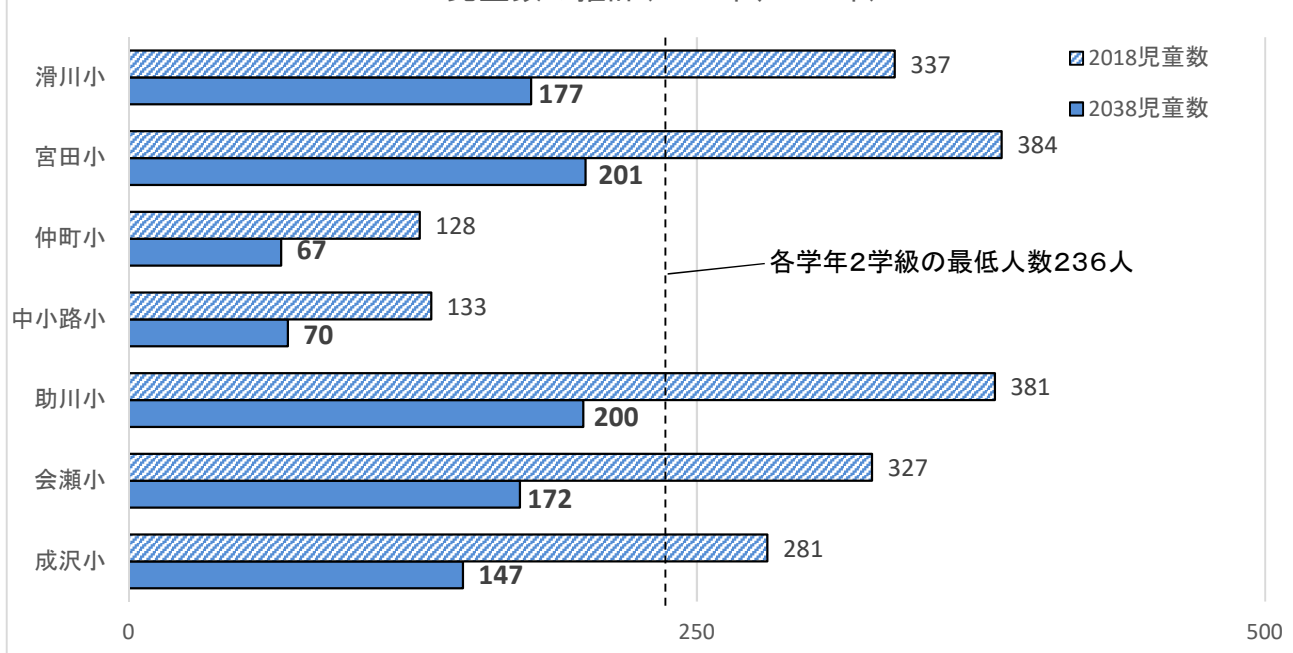
ア 平成30年5月1日現在 (単位：人)

		1 学年	2 学年	3 学年	4 学年	5 学年	6 学年	特支級	計
滑川小	児童数	52	59	47	45	48	47	39	337
	学級数	2	2	2	2	2	2		12
宮田小	児童数	64	56	51	53	73	66	21	384
	学級数	2	2	2	2	2	2		12
仲町小	児童数	18	16	18	17	24	11	24	128
	学級数	1	1	1	1	1	1		6
中小路小	児童数	19	20	22	18	20	24	10	133
	学級数	1	1	1	1	1	1		6
助川小	児童数	59	58	54	43	73	69	25	381
	学級数	2	2	2	2	3	2		13
会瀬小	児童数	40	49	54	50	62	54	18	327
	学級数	2	2	2	2	2	2		12
成沢小	児童数	41	39	31	54	52	45	19	281
	学級数	2	2	1	2	2	2		11
計	児童数								1,971

イ 20年後推計 (単位：人)

滑川小	児童数	177	中小路小	児童数	70	成沢小	児童数	147
	学級数	6		学級数	6		学級数	6
宮田小	児童数	201	助川小	児童数	200	計	児童数	1,034
	学級数	6		学級数	6			
仲町小	児童数	67	会瀬小	児童数	172			
	学級数	6		学級数	6			

児童数の推計(2018年、2038年)



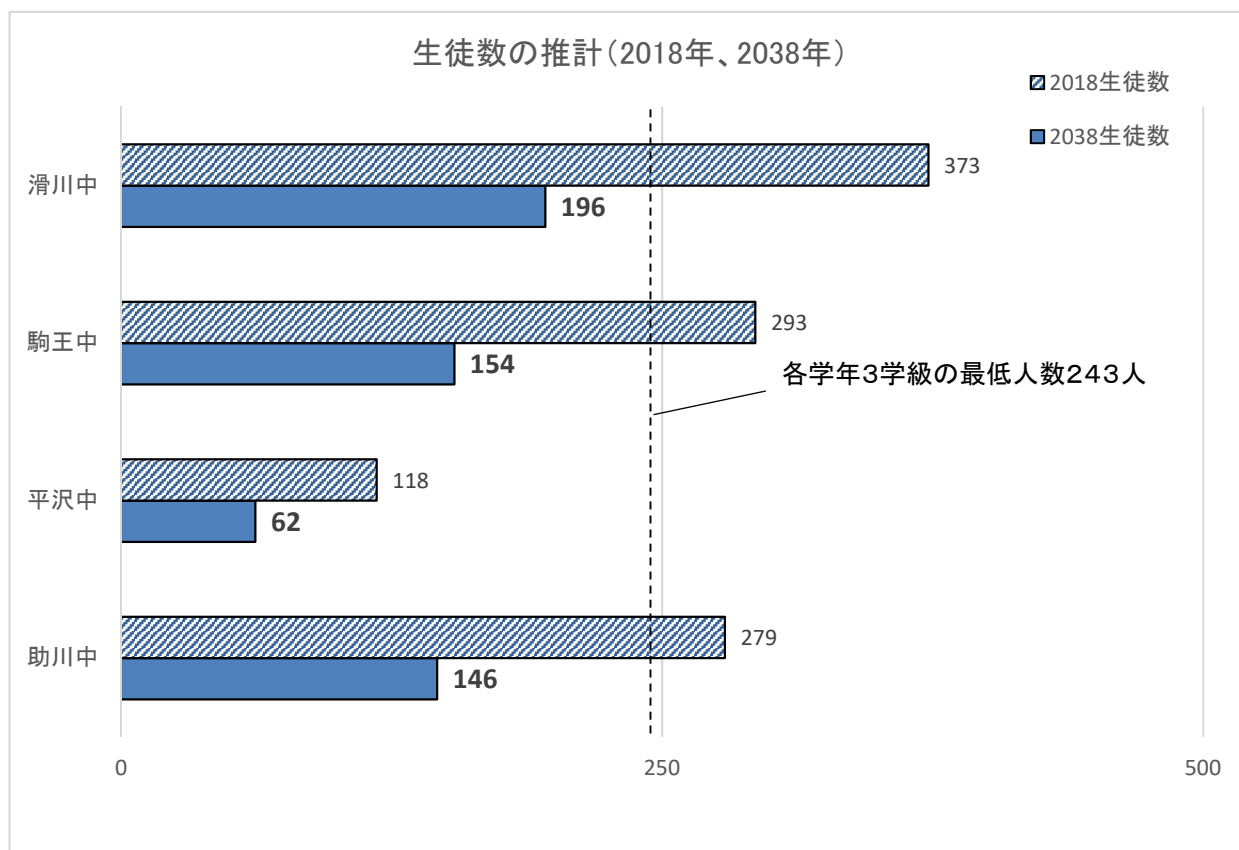
(2) 中学校生徒数

ア 平成30年5月1日現在（単位：人）

		1 学年	2 学年	3 学年	特支級	計
滑川中	生徒数	105	147	110	11	373
	学級数	3	5	4		12
駒王中	生徒数	77	101	98	17	293
	学級数	2	3	3		8
平沢中	生徒数	40	26	46	6	118
	学級数	1	1	2		4
助川中	生徒数	98	92	81	8	279
	学級数	3	3	3		9
計	生徒数					1,063

イ 20年後推計（単位：人）

滑川中	生徒数	196
	学級数	6
駒王中	生徒数	154
	学級数	6
平沢中	生徒数	62
	学級数	3
助川中	生徒数	146
	学級数	6
計	生徒数	558



2 通学

(1) 学区内の最長距離（単位：km）

	道のり	地点
滑川小	2.8	A
宮田小	1.5	B
仲町小	2.0	C
中小路小	1.3	D
助川小	2.2	E
会瀬小	1.5	F
成沢小	2.3	G

(2) 自転車通学

平成30年度	人数	要件
滑川中	0	許可していない
駒王中	0	許可していない
平沢中	0	許可していない
助川中	0	許可していない

(3) 危険エリア

ア 津波ハザードマップ

イ 洪水ハザードマップ

ウ 土砂災害ハザードマップ

3 その他

(1) 小中学校の組み合わせ

	小学校		
滑川中	田尻小	滑川小	宮田小
駒王中	宮田小	仲町小	中小路小
平沢中	仲町小	助川小	
助川中	助川小	会瀬小	

※成沢小は多賀中

(2) 部活動（平成30年度）

	学級数	野球	サッカー	男子バスケ	女子バスケ	男子バレー	女子バレー	男子テニス	女子テニス	陸上部	男子卓球	
滑川中	12	○ 12	○ 49	○ 27	○ 10	○ 6	○ 28	○ 35	○ 25	○ 31	○ 30	
駒王中	8	○ 17	○ 45	○ 25	○ 13		○ 17	○ 23	○ 16		○ 18	
平沢中	4		● 16	○ 13	○ 13			○ 19	○ 16		○ 6	
助川中	9	○ 28	○ 33	○ 26	○ 21		○ 17	○ 19	○ 19		○ 26	
	学級数	女子卓球	男子柔道	女子柔道	男子剣道	女子剣道	吹奏楽	美術	文芸	科学研究	パソコン	
滑川中	12	○ 18	○ 3		○ 1	○ 3	○ 56	○ 15			○ 6	17部 355人
駒王中	8	○ 20					○ 48		○ 6	○ 10		12部 258人
平沢中	4	○ 3			○ 1	○ 1	○ 24					10部 112人
助川中	9	○ 18			○ 7	○ 3	○ 34	○ 12				13部 263人

上段：設置の有無（○は単独、●は3年生の引退後、新人戦での他校との合同チーム）

下段：部員数（3年生を含む）（単位：人）

(3) 学校の校舎と敷地

(単位：㎡)

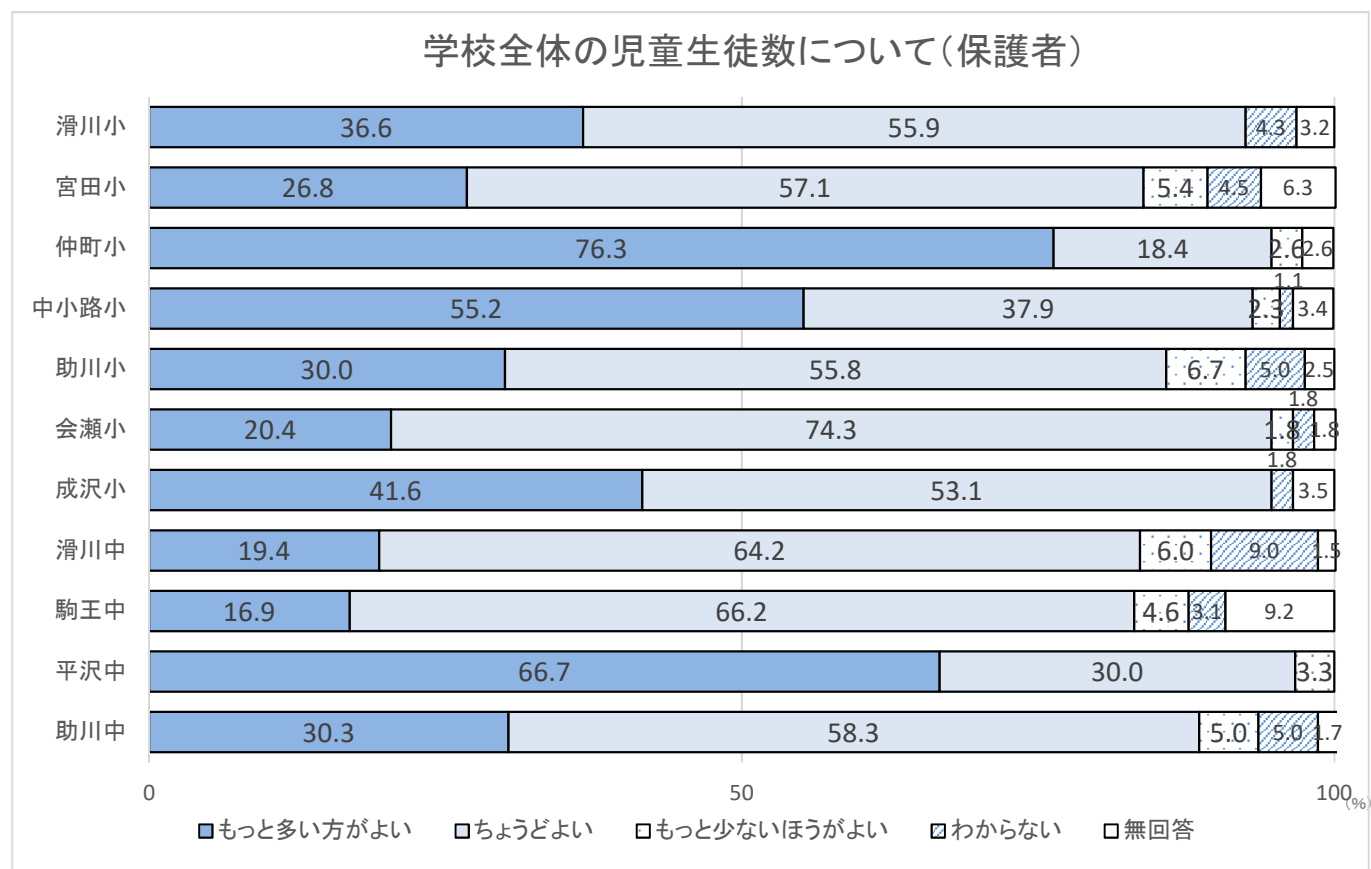
	建築年月	校舎	体育館	敷地	左のうち 運動場
滑川小	S48. 3 S50. 2 H13. 12	5, 710	762	22, 335	9, 171
宮田小	S45. 3 S52. 10 S54. 1	5, 327	848	19, 964	9, 497
仲町小	S53. 8 S55. 8	3, 726	809	12, 643	6, 325
中小路小	S52. 1 S53. 8	3, 620	739	19, 724	9, 484
助川小	S52. 1 S53. 8 S54. 9	6, 110	921	31, 511	15, 865
会瀬小	H24. 3	4, 680	749	20, 910	9, 480
成沢小	S46. 3 S46. 12	6, 007	760	17, 090	8, 964
滑川中	S55. 2	5, 389	1, 176	32, 836	15, 921
駒王中	H15. 2	6, 428	1, 246	15, 141	8, 394
平沢中	S36. 8 S47. 7 S48. 2 H1. 5	3, 906	1, 458	26, 191	11, 815
助川中	H25. 7	5, 194	1, 320	25, 493	11, 000

(4) 未就学児の居住状況(単位：人)

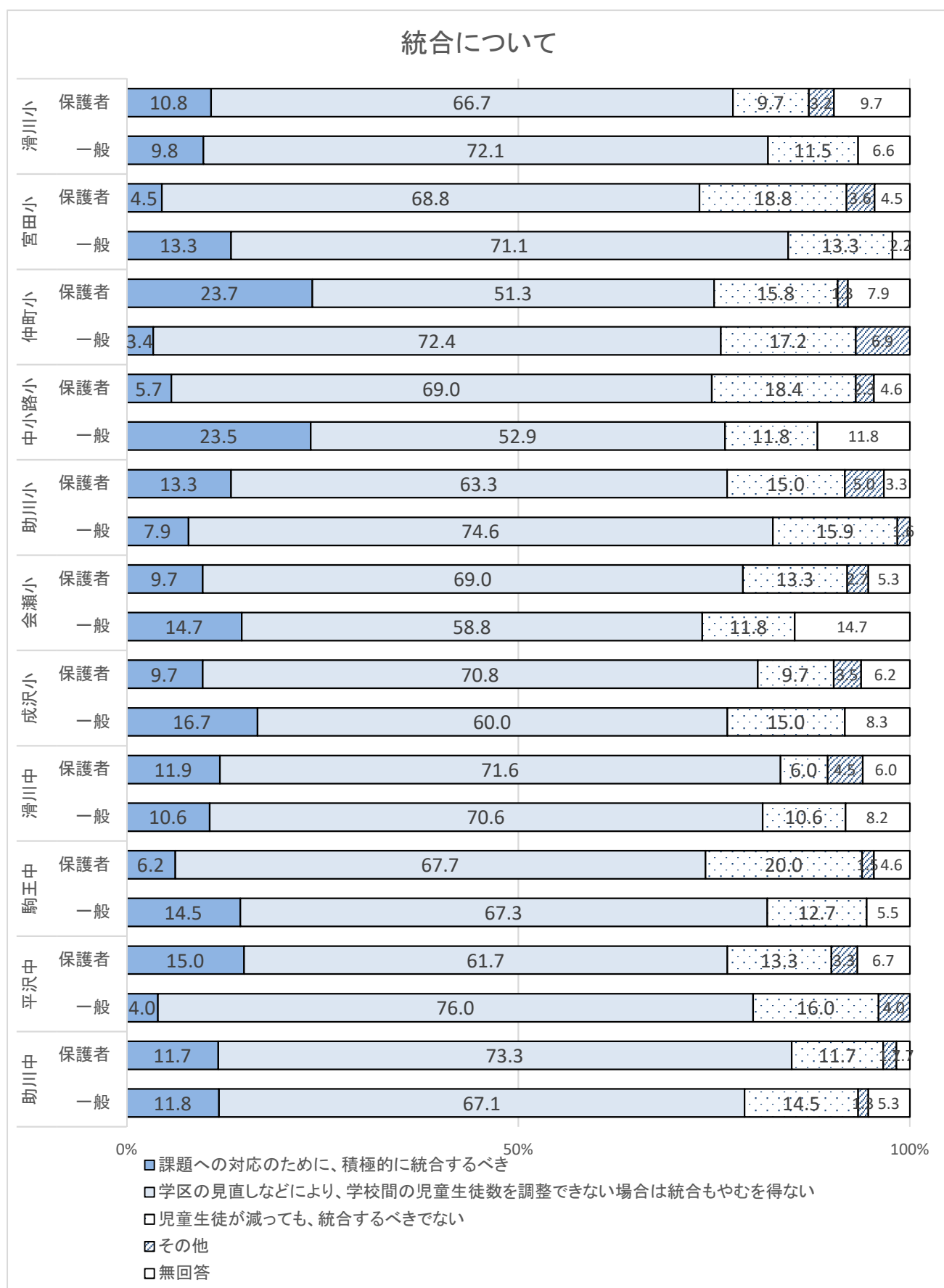
年齢	入学 年度	小学校区						
		滑川小	宮田小	仲町小	中小路小	助川小	会瀬小	成沢小
0	36	57	54	15	19	51	31	27
1	35	67	52	16	19	46	38	30
2	34	65	57	21	10	51	41	26
3	33	57	59	18	24	62	32	37
4	32	76	57	27	15	60	36	34
5	31	73	50	18	14	72	53	34
2024(H36) 計	児童数	395	329	115	101	342	231	188
	学級数	12	12	6	6	12	9	6
H30年度比		17%	△14%	△10%	△24%	△10%	△29%	△33%

(5) 地域の意見
ア アンケートの結果

問 あなたの世帯のお子さんが通学している学校の児童生徒数については、どのように感じていますか。



問 小中学校の小規模化への対応として、子どもたちの学習環境を整えるため学校の統合を進めている自治体があります。このような対応についてどのように考えますか。



イ 保護者懇談会での意見

①再編について

- ・自分が通った学校が無くなってしまうことや、将来の子どもたちの学校が無くなってしまうことへの漠然とした不安がある。（滑川小学区）
- ・ほかの自治体でも再編していることや統廃合してどうだったかなどの情報も知らせてほしい。統合のメリットを教えてほしい。実際は、通学が遠くなるだけでプラスイメージがない。（滑川小学区）
- ・学校の運営面で教員の数は大事で、手厚い教育をしていく上で、先生方にゆとりのある環境を作っていかなければならないと思う。（滑川小学区）
- ・学校が再編されて変わることは、親からすると、大きな学校に吸収されてしまう、地域が見捨てられるような気持ちになる。想定しうる再編のメリットをアピールしてほしい。ある程度の人数があるほうが子どもは喜ぶ。反面教師もあり、お手本もあり、先生以外から教わることも見習うことも多い。（滑川小学区）
- ・義務教育を卒業したら、一人前の大人として社会へ出ていくことになる。親は安全面に気を取られがちだが、一人の社会人を作る過程に学校がどのように影響するのかを意識してほしい。教科学習は元より、交友関係や達成感、係活動などいろいろなことを学ぶのが学校。いろいろなことを吸収している。（滑川小学区）
- ・20年、30年後を考えれば、小学校の再編も必要だと思うが、部活動などを考えて中学校が先だと思う。（中小路小学区）
- ・学校の再編は避けられないことだと考えるが、学校の規模で考えていくことに疑問がある。（中小路小学区）
- ・大きい学校に統合というほうが納得できる。（成沢小学区）
- ・統合の前に学区の再編を考えてもいいのではないか。（中小路小学区）
- ・校舎の古い学校はエアコンもないが、子どもが減っていく学校のためにエアコンを付けたりしてお金を使うよりは、新しい使いえる校舎を有効に使ってほしい。統合は早く進めていった方がよい。（成沢小学区）

②通学について

- ・地域の目が少ないと感じる。声掛けしてくれる大人が少ない。地域との協力が難しいと感じる。（滑川小学区）
- ・自転車通学が認められていないのはなぜか。通学が遠くなるなら自転車通学でもいいのではないか。坂が多いということはあるが電動自転車などもあるし、状況に合わせて交通手段も変化していいのではないか。（滑川小学区）
- ・近所に同年齢の子どもがいない。近い学校に一人を通うなら、少し遠くても集団で登校できる学校に行かせることも考える。（中小路小学区）
- ・時間や距離は長くてもいいが、女の子は1人になることが心配。（仲町小学区）
- ・学校分布からも、この辺りは学校が多い。那珂市に住む友人から、小学校1年生でも1時間くらい歩いて登校していると聞くと、日立は恵まれていると思う。どこかで取捨選択することが必要だ。（仲町小学区）
- ・自家用車で送迎すると過保護のように見られるが、問題ないと思う。助小は駐車場がないし、整備されてなく入りにくい。親はサポートしたいと思っているのに。（助川小学区）
- ・統合される側の通学距離が長くなる。スクールバスなどの代替措置はあるのか。（成沢小学区）

③スケジュールについて

- ・どのような再編になるのか。最も早いところでは、いつ頃になるのか。（滑川小学区）
- ・通学の問題が出ているが、ハードの部分は簡単なのではないか。地域が真剣にやれば解決できるのではないか。もう少し早く青写真を出してほしい。大きなビジョンを示してほしい。「決まっていない」だけでは不安を煽るだけ。（滑川小学区）

④その他

- ・跡地の利用は、子どもたちの集まる場所にしてほしい。校舎を壊すことになっても、地域を思い出せる形を何か残して、学校があったことを思い出せるようにしてほしい。（滑川小学区）
- ・単学級の先生の負担が分かった。再編がいつスタートするのか心配している。途中からの転校になると人間関係が心配される。（中小路小学区）
- ・滑川中は海に近く、避難所としても相応しくない。滑川小の敷地で小中一貫校を考えてもいいのではないか。（滑川小学区）
- ・仲町小は今年100周年で、伝統があるから無くせないと言っているのを聞くと、伝統の意義もわかるが、伝統を維持するために今の子どもたちの環境を整えられないのは疑問だ。（仲町小学区）

ウ 地域懇談会での意見

①再編について

- ・この基準には賛成。しかし、統合した時点でも子どもたちは減っていくので、繰り返しにならないように、統合した時点では少し多くなるように、更に20年先を見た計画にしてほしい。2学級ぴったりでやっても、同じ割合で減少していくとすれば、20年でおおよそ半分になる。それでは意味がない。（助川小学区）
- ・現在の滑川中では、3年生5学級、2年生4学級、1年生5学級だと思うが、野球部はチームが組めない、剣道部は廃部という状況。すでに部活動に偏りが出ている。部活動のことを考えると、基準の3学級では少ないのではないか。（滑川小学区）
- ・卒業しても母校のことを気にかけてくれて手伝ってくれたりする。学校はただの器ではない。母校が無くなるのは寂しい。（滑川小学区）
- ・学区とコミュニティがずれていることで、どのような不都合があるのか。県外出身の自分からは日立市の学校が過密状態に見える。交通量の多い国道などは横断させたくはないが、それにしても多いと思う。（助川小学区）

②通学について

- ・もっと広域に、3～4校を統合して、スクールバスで通学させるようなことも進めてもいいのではないか。今後も減っていくから、今のうちに広域に統合してもいい。（仲町小学区）
- ・日立市はコンパクトシティと言っているが、学校を統廃合するとコンパクトシティにならない。スクールバスで通ったら、子どもの顔や地域住民の顔が見えない。地域に足を運んで課題を把握してほしい。（中小路小学区）

③スケジュールについて

- ・安心して子育てができるように、地域のビジョンを早めに出してほしい。若い人たちに来てもらって子育てをしてもらうことで活性化したいとコミュニティも考えている。（滑川小学区）
- ・仲町小、平沢中は基本方針の基準を下回っている。統合の可能性がある地域として感度が上がっている。不安なので、いろいろ話に出ている。基本計画の内容はどのようなものになるのか。全体のロードマップが分からないので明確にしてほしい。（仲町小学区）

・中学校について心配している。5～10年と聞いてがっかりした。中学生は友人関係を築く時期。高校に行って5クラスとかあるときに、中学校が1学級では不安だ。5、6年生になったら（進学先に）悩むと思う。保護者としては、（適正配置の順番を）どのような基準で選んでいくのか気になる。（仲町小学区）

④その他

・基準を満たしながら、どのように教育するのか、どのような方法があるか、いろいろ問題はある。地域の組織としては、子どもたちの安全を支えていきたいと考えている。十分配慮してほしい。（会瀬小学区）

・他市町村の例では、大人が反対し、卒業生が母校を無くすなど反対することが統合の妨げになることが問題。学校は地域のシンボルであるが、基本は子どもたちのためのものである。（成沢小学区）

4 基本方針から見た本庁管内の学校数（20年後推計ベース）

(1) 小学校（最低必要数 236人） 2～4校

1,034人/ 236人 \div 4.4校

1,034人/ 4校 \div 259人 259人/ 6学年 \div 43人（各学年2学級 1学級22人）

1,034人/ 3校 \div 345人 345人/ 6学年 \div 58人（各学年2学級 1学級29人）

1,034人/ 2校 \div 517人 517人/ 6学年 \div 86人（各学年3学級 1学級29人）

(2) 中学校（最低必要数 243人） 1～2校

558人/ 243人 \div 2.3校

558人/ 2校 \div 279人 279人/ 3学年 \div 93人（各学年3学級 1学級31人）

558人/ 3学年 \div 186人（各学年6学級 1学級31人）

(3) 学級編制（平成30年度 茨城県）

ア 小学校

（単位：人）

	1学年	2学年	3学年	4学年	5学年	6学年	計
1学級の上限	35	35	40	40	40	40	
学年2学級 の 必要数	36	36	41	41	41	41	236

イ 中学校

（単位：人）

	1学年	2学年	3学年	計
1学級の上限	40	40	40	
学年3学級 の 必要数	81	81	81	243